



関町小通信

令和元年 5月 7日
練馬区立関町小学校
学校だより 5月号

ハートフル関小をめざして 対話・調和を大切に

校長 加園 正子

令和元年風薫る5月。木々がみずみずしく若葉をまとい、ハナミズキや藤の花が爽やかな風に揺れています。今年のゴールデンウィークは、10日間の大型連休でした。30年間の平成時代を終え、新しい令和時代がお祝いムードで幕開けしました。元号が改まったことで生活が変わるわけではないのですが、未来をよきものにしたいという皆の気持ちが、日本中を賑やかな雰囲気に行っているように思います。

学校では、始業式から一か月が過ぎました。どの学年・学級の子供達も、新たな目標に向かいはりきって学校生活を送っています。休み時間の校庭を眺めると、男女一緒の鬼ごっこ、先生が混じったドッジボール、ラッタッタ等での遊具遊び、花壇の花に水やりをする栽培委員会の子供達…。どの子供も生き生きとした表情で、それぞれの休み時間を楽しく過ごしています。

今子供達は、新しい担任の先生を中心に友達との関係を築いています。先生方も、子供達にとって居心地よい学級にするために、一人ひとりの子供の居場所をつくらうとしています。一人ひとりの居場所をつくるためには、子供達がお互いの個性を認め合うことが必要です。そして、お互いの個性を認め合うためには、各々のコミュニケーション能力を高めることが大切です。

友達と一緒に活動することで、多くのコミュニケーションが生まれ、次第に仲間になっていきます。一緒に活動すると、各々の個性が見えてきます。個性は、長所でもあれば短所でもあります。例えば、動き出しが早い子供もいれば、じっくり考えてから動き出す子供もいます。どちらが良いとは言いきれないので、その子の個性が活きるように、私達は調和をとりながら指導や助言を行うようにしています。子供が学級の中で「とても大切な一人だ」とみんなからも思われ、自分でも感じ取ることができるよう、様々な教育活動の場面で対話的な学びを取り入れてコミュニケーション能力を高めていきたいと考えています。

5月は子供達が友達との関係作りをしている時期です。誰もが、みんなと楽しく過ごしたいと願って生活していても、上手く関係が築けることもあれば、互いの言葉や感情の行き違いなどでつまづき悩むことがあります。ご家庭でも、お子さんの目を見ながらゆったりとした気持ちで話を聴いたり、お子さんと一緒に過ごしたりする時間を大切にさせていただけたらと思います。そして、お子さん自らが、仲間との豊かな関係づくりができるように応援してあげてください。どうぞよろしくお願ひいたします。

お願ひします

今月は、午前授業設定日が4日あります。午後の授業がないことは、自由な時間が生まれ開放感に包まれます。いつもより、長く遊ぶ時間もでき、ふだんなかなか遊べない友達と過ごすこともできる機会にもなりますが、行動範囲も広くなったり、自転車移動など危険なことも増えたりする危険も考えられます

夕べの音楽は、17時30分です。お子さんの放課後の過ごし方の確認とともに、公園や公共施設での安全な遊び方や帰宅への声掛けなど併せて御協力をお願いいたします。午前授業日の放課後の開放は、せきっこ登録者以外は、14時30分からです。

* 大きな道路に挟まれている位置に学校があるため、生活圏には抜け道もあり、交通事故が常に心配です。交通安全教室他朝会等でも繰り返し指導しておりますが、御家庭でも御自宅付近の危険な場所について、お子さんへの声掛けをお願いいたします